

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 30 年 12 月 25 日

設置・運営主体	戸田市		
設置主体	戸田市		
経営主体	戸田市		
事業所名 (施設名)	戸田市立下戸田保育園	種別	保育所
所在地	〒 335-0016 埼玉県戸田市下前2-9-22		
電 話	048-442-3746		
FAX	048-442-4952		
Email			
URL	<a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/252/hoikuen-hoikuen-list.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/252/hoikuen-hoikuen-list.html</a>		
施設長氏名	松本 美枝		
調査対応担当者	松本 美枝 (所属、職名：園長)		
利用定員	100 名	開設年	昭和 28 年 4 月 18 日
理念・基本方針			
<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私達は、子ども達が安全で安心して過ごすことができる環境を整え、心身ともに健康な子どもを育てる</li> </ul> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携を取りながら、丈夫な体と元気に遊べる子どもに育てる</li> <li>・思いやりがあり、友達などを大切にし、やさしい心豊かな子どもに育てる</li> <li>・個性を大切にし、自分を表現できる子どもに育てる</li> <li>・最後までやり遂げる力を持つ子どもに育てる</li> <li>・地域の子育て支援の拠点となる保育園づくりをする</li> </ul> <p>【園目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で生き生き遊べる元気な子</li> <li>・思いやりがあり、友達などを大切にする子</li> </ul>			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 : 7時00分～19時00分 土曜日 : 7時30分～18時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	—				
1歳児	12	12	1		3
2歳児	18	18	1		3
3歳児	22	22	1		2
4歳児	24	23	1		1
5歳児	24	24	1		1
計	100	99	5	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		11 人	
うち	保育士	11 人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	人	その他 ( ) 人
非常勤職員数		11 人 (常勤換算	5.7 人)
うち	保育士	6 人 (常勤換算	3.6 人)
	保健師・看護師	人 (常勤換算	人)
	栄養士・調理員	人 (常勤換算	人)
	その他 ( 保育支援員・パート・事務員 )	5 人 (常勤換算	2.1 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 0 人
	退職	常勤： 1 人	非常勤： 0 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		38.4 歳 (	38.4 歳)
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		2.9 年 (	2.9 年)
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

**【本来事業に併設して行っている事業】**

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)

--

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育		—
延長保育	○	月極1時間¥2500、2時間¥4000 日割り1時間¥250、2時間¥400
休日保育		
障害児保育	○	
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

29 人

・ボランティアの業務

- ・おはなし会(わらべうた・素話)
- ・中学生の職場体験

### 【実習生の受け入れ】

・平成 30 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 8 人 (保育士・看護師)

**【施設の状況に関する事項】**

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m <sup>2</sup>	
	入所(通所)者1人あたり	m <sup>2</sup> (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	327.207 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	4.94 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	994.793 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	9.95 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	48年

## 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・園長が登園時に門に立つ際や、園長及び主任保育士が施設巡回を行う際に、積極的に保護者とのコミュニケーションをとる中で、気軽に相談、意見、要望が伝えやすい環境を大切にしています。意見が寄せられた際には、朝のミーティングや会議にて職員に周知し、早急な対応を心がけています。一方通行にならないよう、必ずお答えする姿勢を大切にしています。

・園長及び主任保育士が、保護者会役員会に出席し、各クラス役員より集められた行事等の意見、要望をお聞きしています。また、保護者会アンケート実施後、保育幼稚園室との連携による回答を各クラスに掲示しています。回答に当たり、園長は詳細を確認するために保護者会長や役員との面談を行っています。

・職員は送迎時に保護者との会話を大切にし、意見が伝えやすい雰囲気をつ心がけています。懇談会、個人面談、連絡帳を通して気軽に意見や要望を伝えていただいています。

・地域交流に参加された方には、終了後にアンケートを実施し、要望やニーズを伝えていただいています。

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・平成29年度より、絵本の取り組みに力を入れています。職員会議前に職員の「心に残った絵本」を紹介することで、職員間のコミュニケーションが深まり保育の活性化につながりました。園児や保護者向けには①「貸出絵本」の充実②「絵本の木（私の好きな絵本）」の掲示③職員による「おはなしポケット」（お迎え時に親子で参加いただき、絵本の読み聞かせや手遊びを実施）の開催を行っています。

・掲示板の活性化として、園長が年長児と製作した季節の作品を掲示しています。園児の作品が掲示されることで掲示板に足を止めて見ていただき、お知らせ掲示の周知にもつながっています。

・ISO担当職員を中心に、保育環境の見直し改善に取り組んでいます。園庭にビオトープを作りメダカの育成、園庭の果実や畑の野菜を使用した食育、ゴーヤ育成による緑のカーテン、園児向けの環境集会（ごみの分別）等を実施しました。

・保育の質の向上として、主任保育士が中心となり園内研修の年間計画を作成、その中の一つとして、園内公開保育を実施しています。終了後、カンファレンスを行い意見交換や気づきを伝えあい保育を学び合う場となり保育の活性化へつながっています。

## 【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

\_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_ 回 （平成 \_\_\_\_\_ 18 \_\_\_\_\_ 年度）